

(HKS関西 サービス・ランエボ)

吹けきりで、連続全開はキツイ!



ギヤ比が低いランエボは、最高速テストにはちょっと不利。しかし、「7500rpm吹けきりで、255km/hくらいか? それ以上回して最高速をねらうクルマじゃないからね。すぐ吹けきってしまうから、バンクの出口から加速すれば、十分やで」と、公野尚井。が、Daiのひと語にエンジンが熱ダレ!? 7100rpmで計測ポイントを通る。「Daiちゃん、無理せんでええよ。壊れてもーたら、奈良から鹿さん呼んでこないと帰れなくなってしまうから」と、おあとがよろしいようで……。

(圭オフィス・シルビア)

乗りやすい足は、谷田部でも通用する!



圭OFF現地人北原によれば、「ウチは最高速をやり続けていますから、マッパ350km/hクワイデスカネ。ブースト/110kg/バダス」と。日本語に訳すと、「ストリートをアダルトに流し、サーキットでも楽しく操れる仕様です。最高速は240km/hで十分ですから、ブーストは1kg/バダで誰でも踏んでいけます」となる。Daiによれば、「クルマとしてのバランスがいい。なかなかいい足してるよ。長野仕様で谷田部でもOKだ、安心して踏める。だけど、そんなにスピード出てないっちゃうコトだぞ」とのコト。

キャノンボールの締めくくりは、最高速で決めていた。最高速がそのままポイントになるってワケ。どーだ? わかりやすいだろ。最高速ってのは、ピークパワー、加速力、足まわりと3拍子そろわないとダメなんだ。だから、チューナーは最高速を追い続けているのだ。まあ、今回は最高速をねらうためにチューニングしたのでもない(ある?) だろうから、そのクルマの総合体力測定みたいな感覚だ。だけど、最高速といえは欠かせ

終わり良ければ Dai 福田最後の勝負は名物最高速スピード=ポイント単純明快だろ!?

無事に終わってホッとしたいよ!!



ない雨さん、最近絶好調のエスプリ、地元ヴェイルサイドが来れなくなっちゃったのが本当に残念。雨さん、今度は本当に頼むよ。最高速ステージで光ったのがレイブロススーブラ。もう少しでGT-Rをも喰らった。227のしかもMR2ながら、最高速に挑戦してきたガレージ福井も立派だった。なにとはあれ、無事に終わって良かったよ。長い旅に付き合ってくれたチューナーのみなさん、どうもありがとう!!

(トリアル GT-R)

ナタの切れ味、実力発揮!

ブーストを1.3kg/バダから1.5kg/バダに上げてのトライ。サーキット走行用タイヤともいえるRE520Sが相当な抵抗になり、310km/hの目標には届かなかった。「マインズGT-Rに対して、コッチは丸太をナタでストーンとカチ割るような切れ味だね。豪快というか大味というか、チューナーの性格がそのまんまクルマに出てるよ」と、Dai。



まあ、まあ、まあ、仲良くやりましょーや。

コラ、100年早いワ!

ウチもこれからは最高速を極めて、テストね……

りに終わった。パワー競争じゃスーブラだってGT-Rに引けをとらない。6速に入っても加速していく。しかし、やはりバンクで伸びず、295km/h。抵抗を減らし、回転数を稼ぐためにタイヤを輪狭、小径に変更したのが裏目に出たようだ。で、注目のGT-R対決は、マインズのクラッチトラブルで決着。

Daiが「谷田部でこんなに安定して、気持ち良く走れるマシンは初めてだよ」というのにこのトリアルは残念だ。トリアルは無難に302km/hをマークしたのだ。さて、かくして各ステージの激戦は幕を降ろした。山あり谷あり激闘あり。総合結果は次号に注目。1月の東京オートサロン会場で総合表彰式をヤルゾ!!

(ブリッツ・セリカGT-FOUR)

フェンダーが干渉、バンクで踏めず!



OPTセリカとほとんど同じ仕様で、ブースト1.2kg/バダ。したがって、パワーもまったく互角。しかし、バンクで右フロントタイヤとインナーフェンダーが干渉し、思い切った踏み込めない。6000rpmでバンクを脱出し、そこからの加速に賭けるが、6400rpm止まり。応急手当ができれば、これ以上のスピードアップも望めるが、車載工具の装備では無理だった。

さあ、イッてみよう!

特参のDaiセリカGT-FOUR

247.08km/hをマーク



エンジンだけはよく回る、オーストラリアで慣らしは完璧!?

オーストラリアの荒れた路面をカッ飛び、ずいぶんと酷に使ったので、ボディはガタガタ。「まるで10年落ちのクルマに乗ってるような感覚だ」と、Dai。デフもウィーンと泣き、今にも壊れそう。だけど、オーストラリアでの全周慣らしが効いている(?)ため、エンジンだけは絶好調。オーストラリアでの227km/hなんて鼻噴まじりに軽〜くオーバ〜!

最高速リザルト

順位	車名	ゼッケン	最高速
1位	トリアルGT-R	6	302.90km/h
2位	レイブロススーブラ	9	295.57km/h
3位	ガレージ福井SPL-MR2	4	285.37km/h
4位	DaiセリカGT-FOUR	200	247.08km/h
5位	ブリッツセリカGT-FOUR	7	242.59km/h
6位	HKS関西サービスランエボ	3	240.00km/h
7位	マインズGT-R	8	239.44km/h
8位	圭オフィスシルビア	5	238.33km/h